

ビルと太陽

一層による新たな都市の構想



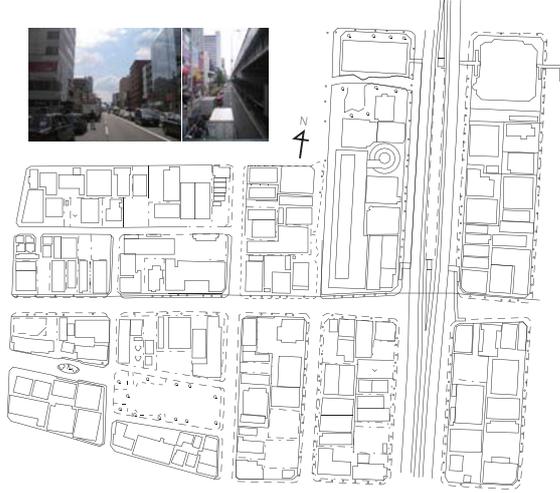
現在拡大し続けるヒートアイランド。じわじわと照りつける路面やその路面を走るトラックからの排気ガス、また、建物内における人が機械的に快適に過ごそうとするために冷暖房などから出る熱エネルギーなど、建物が密集する都市においてかなりの熱が発生している。下記をみてもわかるように緑地の場所は涼しく、やはりヒートアイランドには、建物が大きく影響を及ぼしていることがわかる。



■敷地

大阪府吹田市江坂町
御堂筋江坂周辺

オフィスビル・商業施設のテナントビルが多く存在する場所。高速道路・電車で、交通の要所の一つでもある。このように、ビルが町並みを形成する都市が数多く存在する。その代表例として江坂を対象地区とすることで、他都市においても応用できる。また、そのような都市でヒートアイランドについて考えることで、江坂の環境改善はもちろん他の密集地においてもあてはまる事ができる。



■素材

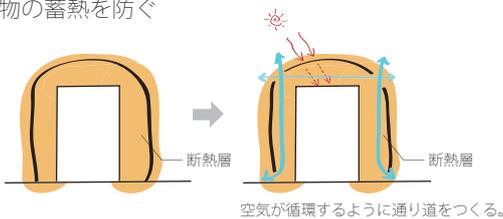
材料名	熱容量 (kcal/℃)	コンクリート
アルミニウム	567	
板ガラス	457.2	
普通コンクリート	462	砂・土
モルタル	380	
プaster	390	
土壁	268.8	
畳	69	木材
カーペット類	76	
合成樹脂+リノリウム	350	
アスファルト屋根材	220	
石綿吸音材	60	看板
パーティクルボード	170.5	
合板	170.5	
FRP	448	ガラス
抽出ポリスチレン	8.4	

■布

- 軽い
- 簡単。施工するときのエネルギーが少なくてすむ。
- 柔らかい仕切り方ができる。
- 光が抜ける。
- 熱を防ぐ。→断熱効果
- 視覚的效果より涼しく感じる。

■提案

建物の蓄熱を防ぐ



□対象物： オフィスビル・商業施設（経済活動がおこる都市を対象）

□布をはる基準：

- ①ふさがない。空気の出入り口をつくる。
- ②フレームをつくる。空気・風の通り道をつくるため。布を上げ下ろしやすくするため。

③日があたるところは覆う。

